

INTERVIEW

永藤英機堺市長に聞く

大浜北町市有地活用事業や次世代都市交通の導入へ向けた整備などで、注目を集める堺市。「先人が築き上げた歴史を受け継ぎ、未来に成長できる都市に」とビジョンを掲げる永藤市長に、これからの街づくりについて、話を聞いた。



永藤英機堺市長

一堺旧港エリアの開発に期待することは、戦国時代には南蛮貿易など海外との交流拠点として、明治から大正時代にかけては、関西を代表するビーチリゾートとして栄えるなど、堺は海とともに発展してきた都市です。しかし、現代においては海とのつながりをなかなか実感できない状態が続いていました。現在は、堺旧港を効果的に活用して、堺のペリエリアの魅力を高める取り組みを積極的に進めています。ハード面では、海に面した「バリアフリー」の歩行者通路（デッキ）やホテルの建設、ソフト面では、海を感じる魅力的なイベントや海を眺めながらレストランで食事ができるなど、「ここでしか得られない体験」を提供しています。堺旧港の夕陽は非常にきれいなのでぜひ一度見ていただきたいですね。

次世代都市交通・SMIで未来へのビジョンを示す

また、堺旧港から大阪・関西万博の会場となる夢洲への航路も計画中です。片道30分ほどでアクセスできるのが非常に便利なのですが、歴史ある堺を船で出港し、大阪湾を渡って「夢の人工島」を目指す航路は、単なる移動ではなく「アトラクション」と捉えることもできます。

神戸の「モザイク」のように、海に面したロケーションを生かしてエリアの付加価値を高め、堺旧港エリアを堺を代表するスポットにしたいと考えています。

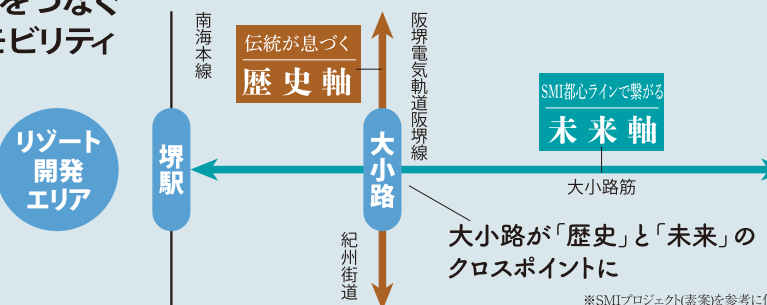
一SMI(堺・モビリティ・イノベーション)は市長肝いりのプロジェクト。SMIを導入する目的は、

「堺のイメージは？」と聞くと、多くの方が歴史や文化を挙げられると思います。逆に言えば、今の堺、未来の堺のイメージを描き切れていないのではと考えています。先人から受け継いだ歴史を未来につなげ、これからは成長できる都市にするのが私の使命です。SMIプロジェクトは、堺の「未来へのビ



SMI都心ラインのイメージ(堺市提供)

堺と堺東をつなぐ新たなモビリティ



ジョン」を示すプロジェクトの一つです。最新技術を搭載した自動運転の車両が都心部を走行するのは、全国でも珍しい事例となります。バリアフリーに配慮し、ベビーカーや車いす、または障がいのある方など、全ての人が安全・快適に移動できるモビリティの実現を目指します。

また、歩行者と公共交通を中心とした「ウォークアブルな街」の形成も大きなポイントです。特に大小路交差点は、100年を超える歴史を誇る大阪唯一の路面電車「阪堺電車」と最新技術を搭載したART(次世代都市交通)の結節点となります。阪堺線が通る大道路筋を「歴史軸」、SMI都心ラインが通る大小路筋を「未来軸」として道路空間のぎわいを創出し、さらに魅力ある都心部にしたいですね。

一堺市での暮らしを検討している人に、メッセージを。

まず、大阪都心部への交通アクセスが優れています。南海本線「堺」駅からはなんばまでは10分強。さらに、2031年に開業予定のなにわ筋線で、南海本線「堺」駅から梅田や新大阪に直結する見込みなので、堺市としても大きな期待を寄せています。

また、歴史や文化、伝統産業が今も色濃く残っていることも魅力です。おいしい飲食店や和菓子店などをたくさん巡っていただきたいですね。そして、堺の人は面倒見が良い方が多い。私も子どもと遊んだり、出かけたりすると気軽に話しかけてくださり、堺の人の温かさを感じる機会が多くあります。程よい人とのつながりがあり、地域全体で子どもを見守り、育ててもらっていると実感できます。

これからも市民の皆様が安心して暮らし続けることができ、そして、将来に夢と希望が持てる都市であるよう邁進します。

生まれ変わる堺

長年活用されていなかった堺旧港周辺がいよいよ動き出す。堺市が進める大浜北町市有地活用事業における公募型プロポーザルで、アコーラホスピタリティグループが選定され、アーバンリゾートタウン「ポルトマール」(仮称)が2025年春に誕生する。無人自動運転移動サービスの導入なども合わせて、「堺の未来予想図」を展望する。(森岡一)



都市とリゾートが融合

ポルトマール(仮称)は堺旧港エリアにホテル、レストラン、バリアフリーの歩行者通路、自転車道などを一体的に整備する計画。ホテルは、香港を拠点とするドーセット・ホスピタリティ・インテラナショナルと提携した新ブランド「ドールセットバイアコーラ」が2025年春に開業予定。シーサイドテラスと一体となったレストランや客室からは堺旧港の美しい景色を眺むことができそうだ。

24年6月にはエリア内に先行してイタリアンレストラン「青いナポリウミンバ」がオープン。オープンから想定を大幅に上回る6000人以上の予約をいただいたと驚きました。都心で非日常的な体験ができる唯一無二のロケーションにポテンシャルを感じています。このたびは、同店を運営するバルニバー、スピリッツ&カンパニーの向井夏樹社長、開放的なリゾートホテル「ドール」の浅生浩取取締役は、ポルトマールの開発責任者、アコーラホスピタリティ



シーサイドテラスと一体となった「ドールセット バイ アコーラ 大阪堺」のレストラン

本格新築(まきま)ナポリピッツァを味わえる、映え系グルメスポット」として注目を集めている。

万博会場に船で直結

2025年大阪・関西万博の会場となる夢洲への航路も計画されています。片道30分ほどでアクセスできるのが非常に便利なのですが、歴史ある堺を船で出港し、大阪湾を渡って「夢の人工島」を目指す航路は、単なる移動ではなく「アトラクション」と捉えることもできます。

無人自動運転移動サービスの実現に向けて

新たな交通システムの導入などを狙ったSMI堺・モビリティ・イノベーションプロジェクトも話題を呼んでいる。堺駅と堺東駅間において



堺市が導入を検討している「SMI都心ライン」(堺市提供)

自動運転技術を活用した次世代都市交通SMI都心ラインと、堺駅と美原間の拠点を通じた急行バスで結ぶSMI美原ラインなど、堺の鉄道は、南海、阪神、JRと全て南北に走っており、「東西」のアクセスは長年の課題となっていた。同ラインにより東西交通の機能を強化し、堺市内をよりスムーズに周遊することができ、SMI都心ラインは、27年度に自動運転レベル4特定条件下における完全自動運転の一部運行、30年度以降に自動運転レベル4の全区間運行を目指している。

未来に残る、真価へ。 SUNRIANT 南海線・特急停車駅「堺」駅徒歩9分 3LDK [平均専有面積 72m²] 中心 全125邸 南東・南西向き 資料請求受付中 0120-092-125 サンリヤン堺 検索

南海線 西鉄の新築分譲マンション 「なんば」駅直通 11分 サンリヤン堺 誕生!

南海線特急停車駅「堺」駅 2025年春開業予定

現場周辺航空写真

予告広告 本広告を行い、販売を開始するまでは契約または予約の申し込みおよび申し込み順位の確保等には応じられません。予めご了承ください。販売予定時期/2025年3月中旬予定